

實性寺 表千家 茶道

3月 稽古 令和五年

利休忌にちなみ

お茶湯

盆香合

台飾り

回り花

茶カフキ

薄茶

お茶湯



掛物 力団希



香合 大明青磁



【薄茶器】 利休写 黒大棗 而妙斎宗匠判箱 || 近左作
蓋置 蓮台 即中斎宗匠好同箱 || 即全作

建水 伝来写 大脇差

【菓子器】 一閑八角朱へぎ目 宗完宗匠箱 || 春斎作
千菓子器 碌々斎宗匠好高杯 即中斎宗匠判箱 || 利斎作

【菓子器】 一閑八角朱へぎ目 宗完宗匠箱 || 春斎作
千菓子器 碌々斎宗匠好高杯 即中斎宗匠判箱 || 利斎作

菓子 「桜餅」 「初桜」 「遠桜」 「草餡餅」
「おぼろ饅頭」 || とらや製

干菓子 「さくら」 「おひなさま」
濃茶 葉茶 猶有斎宗匠好 「樂寿の昔」 || 柳桜園

薄茶 猶有斎宗匠好 「清友の白」 || 柳桜園

薄茶 猶有斎宗匠好 「樂寿の昔」 || 柳桜園



干菓子器 碌々斎宗匠好高杯

【お茶湯】 仏に供え、人に施し、我也飲む

利休様へ・東日本大震災物故者所靈へお茶湯

天目茶碗のあつかい

三重切りを使つて

二順目、三順目での作法
亭主の仕舞い方

【回り花】 一客にて

【茶カフキ】 茶カフキの稽古にて蜜を避けるのは不可能と思われます



茶カフキ